

咳は病気の音楽です

その1



■ 咳は病気の音楽です。咳の音や出方を良く観察すると病気の種類を見分けることも出来そうです。

咳の性質と音色	出る時間	伴う症状
---------	------	------

について、いろんな病気で比べてみましょう。

■ 風邪

クシュクシュン ゴホゴホコンコン 少し湿った咳	1日中での 昼間に強い	発熱 鼻水 頭痛 のどが痛い
-------------------------------	----------------	----------------------

■ 仮性ク룹 (喉頭炎コウトウエン)

ケホン ケホン ケンケン 犬の遠吠え 痛そうな咳 オットセイの咳	1日中 特に夜間 に強い	声がかすれる 声が出ない 呼吸困難 発熱・微熱
--	------------------------	----------------------------------

仮性ク룹では声を出す声帯(セイタイ)の近くが腫れるので、息を吸うのがとても苦しくて、のどの下がペコペコへこんだりします。軽症では吸入とお薬を飲むことで良くなりますが、呼吸困難が強いときや1歳以下の赤ちゃんでは入院しなければならないこともあります。部屋の湿度をできる限り上げて、のどを守って上げることが大切です。

■ 百日咳 (ススクート61)

コンコンコン...ヒューカー	咳の発作	顔がむくむ
----------------	------	-------

■ 気管支炎

ゴホンゴホン ゼコゼコ湿っ ぽい咳せき込 む	1日中での寝 入りばな夜間 がひどい	熱が続くたん がからむ少し 苦しい
---------------------------------	--------------------------	-------------------------

風邪のあとにいつまでも湿っぽい咳が続くときは、気管支炎になっていることがあります。熱もなく夜間すやすや眠れるようなら心配はありません。

■ 肺炎

ゴホゴホゴホン ゲゴンゲゴン 湿っぽい咳 咳込みが強い たんが多い	1日中 昼夜を問わ ず咳が続く	熱が続く 日に日に咳が ひどくなる ぐったりする 息づかいが荒い 顔色が悪い
---	---------------------------	---

子どもの肺炎の原因はウイルス、マイコプラズマ、細菌などです。熱が長引いて咳がひどくなってきたら注意しましょう。気管支炎か肺炎かを見きわめるにはレントゲンの検査が必要です。細菌性の肺炎の疑いがあるときや、薬をうまく内服できない乳児や、ぐったりしてしまっている時には入院が必要になります。

■ のどに何かひっかかった時

ゴゴンゴゴンむ せるような咳	食事時に突然	呼吸困難 顔が紅潮
-------------------	--------	--------------

■ 咳の癖

ぐふん、ぐふん エヘン、エヘン	昼間 寝ると止まる	平熱 元気は良い
--------------------	--------------	-------------

